

北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート かわら版

第四十四号

大久保むが事務所

北九州市八幡西区則松二一九一
TEL 093-9198016
FAX 093-9198017
http://www.mugamuga.net/
E-mail yahatanishi@mugamuga.net



9月定例会 決算議会

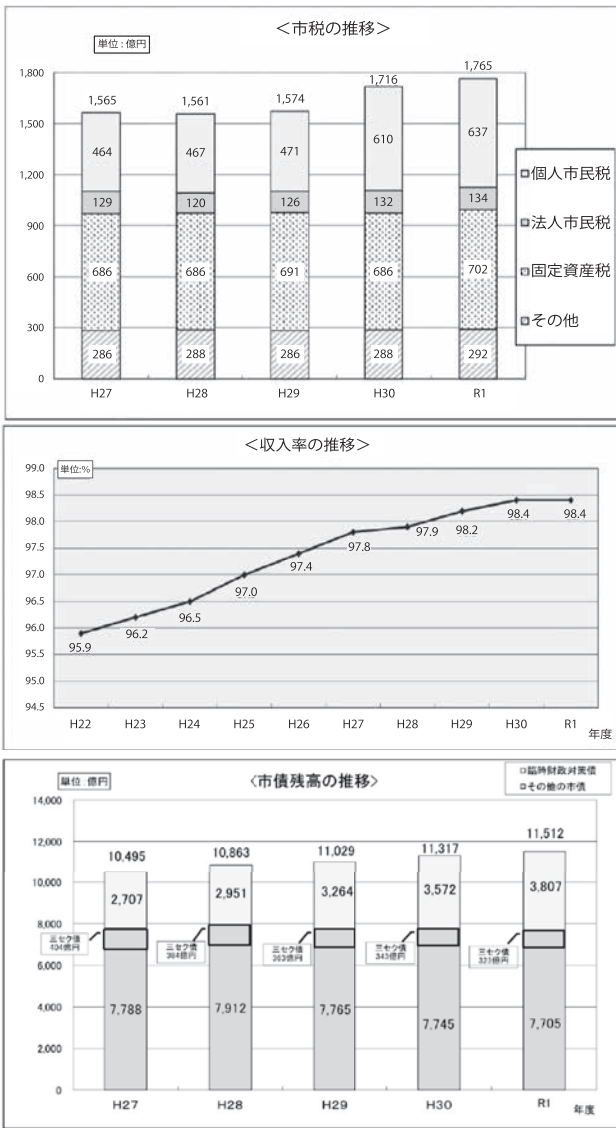
令和元年度に行われた歳出の決算を行う、令和2年度9月定例会が開催されました。今議会は市議会史上最多34人が登壇し、かつてない議論が行われたところ。議会改革によって、質問可能な時間が増加したことや、これまで1時間だった質問時間を半分の30分でも可能にしたことなどで、希望通りに登壇して質問することが可能になりました。

市税収入は3年連続増加

令和元年度は市税が3年連続増加し、過去最高を更新しました。同時に収入率も過去最高となった前年度と同水準となりました。

市債残高は減少

臨時財政対策債を除く市債残高は、対前年度比マイナス40億円となり、7,705億円となりました。



このように昨年度決算は概ね順調であったと言えるのではないのでしょうか。同時に提案された9月補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策として補正総額81億円のうち、66億5,000万円が充てられています。PCR、抗原検査の拡充として5億2,000万円、これは検査能力の拡充を図るため、だ液の採取による検査などを活用し、新たに200以上の医療機関で実施できる仕組みを構築することです。

また、地域を支える公共交通機関の業者に対して、運航経費の一部を支援することも、利用促進のため、家族やグループで利用可能な「1日乗車券」の販売補助などが行われます。

地域経済対策として、市内へのIT企業の進出に際し、選ばれるオフィスビルへ改修工事を行う際の整備補助として、3億5,000万円が計上されています。教育の分野では、例年より早いペースで進行する授業に対応するため、子ども学習定着

度に応じたきめ細やかな指導等を行う学習指導補助などの人材を確保する予算として3億9,000万円が計上されています。9月補正で必要な財源に、国からの新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金として、43億2,000万円が交付されています。更に6月補正に続き、9月補正でも今年度当初予算からの見直しにより6億3,000万円が捻出されました。

一般質問に登壇

今議会では一般質問に登壇しました。今回質問した項目は以下の通りです。

紙面の関係上全てを記載することはできませんが、詳しくは市議会のホームページなどから動画や議事録などでご覧いただけますので、ご利用ください。

●築地工業団地の炭塵問題について

私が平成24年に指摘しました、八幡西区築地町の炭塵問題(港湾で荷降ろしされ、積み出しが行われている炭塵(石炭が粉末状になったもの)が風によって飛び、近隣の工場、職場などへの操業などに影響を与えている問題)ですが、市は翌平成25年港湾地区に防塵ネットの設置を行いました。



この防塵ネットは、このとき市が計画した1期工事として2段階の工事を経て設置され、一定程度の効果がありました。当時の計画で

は2期工事でも設定されていたのですが、予算の関係もあり1期工事の状況や効果を見て、2期工区を判断することになっており、現在この工区については未着工のままです。これまで地元企業の方々と状況を相談する中で、私自身としても市が設置した防塵ネットには一定の効果があったと判断できます。この地区の粉塵被害を軽減するためにも、今議会での質問において市としての1期工区の竣工後の効果検証を求め、早急に2期工区を着手し、この地域の操業環境の改善を図るよう提案いたしました。

また、地域の中長期の対応についても一時的な対策を繰り返すのではなく、抜本的な対策について検討することを求めました。

●市制60周年記念ご当地ガンダムの制作について

機動戦士ガンダムは1979年に放送が開始され、今現在もシリーズが制作され続けている、とても幅広い世代からの支持の高いアニメです。

現在、機動戦士ガンダムが放送から40周年を迎え、東京では実際に動く等身大のガンダムが制作されるなど、アニメの中でも最高峰に君臨するといえるのではないのでしょうか。

そんな機動戦士ガンダムですが、プラモデルの種類も豊富で、様々な企業とのいわゆるコラボレーションしたものが登場しています。大手コンビニのセブンイレブン店員の制服をイメージしたもの、衣料販売大手のユニクロ仕様、プロ野球12球団のユニフォームをイメージしたもの、幻の東京オ



セブンイレブンバージョン：大久保むが 作

リンピック・パラリンピック2020仕様など、数多くのプラモデルが作られるほどにまでなっています。

令和5年に本市は市制60周年を迎えます。これに合わせて、北九州限定、全国初のご当地ガンダムを作り、本市のサブカルチャー事業の更なる強化を図り、イメージ向上を図っては、と考え提案いたしました。

●カタカナ語の濫用について

上記の質問で、コラボレーションとか、サブカルチャーとかカタカナを使いたくった私が言うのも何なのですが、今の世の中、テレビや日常会話でカタカナを使って言うけど、実は意味がよく分からないってこと多くないですか？中国の儒学者 孔子の話をまとめた論語という書物の中に、「辞は達するのみ」という言葉があります。この言葉の意味は、言葉は通じさえすれば良い、という話です。逆に言うと、言葉は伝わらなければ意味がない、ということも覚えておきます。

ソーシャルディスタンス、エビデンス、オーバーシユートなど、日本語でちゃんと置き換える言葉があるにもかかわらず、わざわざカタカナ語を使う必要があるのでしょうか？と思います。

かつて日本でも国語(日本語)を廃止して英語を公用語にしよう、という動きがありました。九州大学の施光恒准教授によると、「普遍的で「文明的」だと思われた英語など欧米の言葉を、日本語に徹底的に翻訳し、その概念を適切に位置付けていくことによって、日本語自体を豊かにし、一般庶民であっても少し努力すれば、世界の先端の知識に触れられるような公共空間を形成した。これによって、多くの人が自己の能力を磨き、発揮し、参加することのできる近代的な国づくりが可能となり、非欧米社会ではじめて近代的国家を建設できた、と言っています。

安易にカタカナ語を濫用し、意味が通じないまま会話をするということは、非効率であるばかりか、突き詰めると、カタカナ語の意味が分からない人が会話に参加できなくなる、ということに繋がります。ひいては、英語でもない、カタカナ語が分かる人だけが情報に触れ、議論ができるという事にもつながり、結果として階級社会の構造

裏面に続く

← 一般質問の続き

が形成され、さらに貧富の差にも繋がるなどの指摘もあります。安易にカタカナ語を多用することについては議論しなければならぬと考え、議会において取り上げました。市の発信についても力カタ語の在り方について検討することを求めました。

● 学校とPTAとの基本的な考え方について

以前、兵庫県川西市で行われている、PTAのありかたに関する検討会を視察した際に、PTAの業務を学校の教員が行う事について、川西市では学校単位のPTAと学校との間に業務委任契約を結ぶことが必要である、ということを検討されていることを学びました。

確かに、任意の団体であるPTAの文章を学校が配布、回収するなどを職務中に行う事については、厳密に問われれば教員の職務とはなりえず、では何に基づいて行っているのか、ということになります。

これまでの慣例として認められてきたとしても、どこまでが教員の職務でどこからが違つか、という事が明確ではありません。正式な業務委任契約を行わずに、学校が任意の団体であるPTAの事務を行うことについては、その事務量が明確にならないことにより教員の業務負担の増加につながり、場合によってはその教員は職務専念義務違反を問われる可能性があるという指摘する声もあります。

政策立案支援事業の講師に、
京都大学大学院
藤井聡教授を招聘

コロナ禍における公共交通を持続可能なものにするために公的資金を投入することを提言している日本モビリティマネジメント協会の会長であり、京都大学大学院教授の藤井聡先生を招いて、北九州市議会において政策立案支援の講義が開かれ、多くの議員が参加しました。

藤井教授によれば、公的な支援がなければ全国の公共交通の8割近くが廃業、倒産の可能性があり、もしそうなった場合、より公共交通を利用せざるを得ない弱者にしわ寄せがくることとなります。また、もとも公共交通の基盤が弱い地方ほどその影響を受けることで、地方経済の更なる弱体化や人口流出など、地方が崩壊する可能性も高まることを指摘されました。

全国的に公共交通が危機的な状況にある中、まずは政府による徹底した公共交通への支援を行い、経営の下支えを行うことが必要です。しかし、現状そのような徹底した支援が行われていません。採算が合わなければ廃線廃路ということとをすべからず、公共交通はいわば警察や消防、道路や水道などと同じように失ってはならない貴重な都市の基盤の一部であるという認識を持って、維持をしていくという考え方が必要だという話を聞くことができました。

一方、そういう状況の中での経営努力も当然必要で、一部の地方では様々な工夫によって乗客を増加させることができています。事例も紹介されました。今後本市の新たな取り組みへの参考となる事例も紹介され、議会の政策立案支援としても大変有意義な話を聞くことができました。



政党所属から、無所属になりました

このたび、私が所属していました「国民民主党」と「立憲民主党」が、それぞれ解党・合流という形になりました。この一連の流れの中で私は、当面この政党にも所属することのない「無所属」で活動することを決意いたしました。

これまで私は、民主党、党名改称して民進党、そのまま希望の党との合流で国民民主党と籍を置いてきました。それは、国政における政治体制は常に切磋琢磨する勢力が競い合い、お互いしっかりとチェックし合える環境になることが望ましいという考えからであります。私が民主党に所属して政権与党に対するもう一方の政治勢力の確立の僅かでもの支えになればと、当時の民主党に所属して活動を行なってきました。

今回、私たち地方議員も新党への参加の判断を9月7日までせねばならないこととなりました。同僚、先輩議員が新党への参加を決める中で私もどのようにするか逡巡いたしました。9月7日時点においてまだ党名も決まっていな

い、誰が代表となるのかも定かではない、そして綱領はある程度定まっていた状況でした。私には、政治家と政党の関係は、ある意味結婚や就職などと同じくらい重いものだと考えています。これについては先ほど申し上げました通り、国において切磋琢磨する勢力がお互いの政策を競い合っていく関係はとても重要だと思っています。新しく合流した新党がその切磋琢磨する勢力となり得るのか、市民国民の負託に堪えることができる政党であるのか、私には現時点ではそのように見ることはできなかつたため、合流新党への参加はせず、無所属を選択いたしました。

私は北九州市議会議員として皆様から議会へと送っていただいております。北九州市のことについて全力で取り組むのはもちろんですが、今回無所属として活動するにあたって、いま一度これまでとこれからの活動についてじっくり考えつつ、市民の皆様の声を議会へ届けるその役割を果たして参る決意です。

キタQに
連載 第41回
無我夢中!!
わくわく北九州の巻



大久保むが今号の1枚

皿倉山登山、国見岩。



寄付のお願い

大久保むが応援団では議員の活動支援のため、個人寄付と応援団「絆クラブ」の2つの方法でご協力をお願いしております。活動資金が厳しい中ではありますが、様々な工夫をしながら皆様により多く市政に関わる情報をお伝えしたいと思っております。頂きました浄財は皆様に市政の情報をお伝えする市政レポートの発行に活用させていただきます。ご協力いただけます方は、2つの方法から選んでいただき、お支えを賜りますようお願い申し上げます。



金額の指定はございません。頂いた浄財の想いを受け、政治活動に活用させていただきます。

① 個人寄付	・記号:17410 ・口座番号:83659011 ・名前:オオクボムガオウエンダン
ゆうちょ銀行	
他金融機関からの お振り込みの場合	・店名:七四八(ナナヨンハチ) ・店番:748 ・種目:普通預金 ・口座番号:8365901
福岡ひびき 信用金庫	・店名:折尾支店 ・種目:普通預金 ・口座番号:1202105 ・名前:オオクボムガオウエンダン

② 絆クラブ

政治活動を安定的に行うことができるようにするため、毎月一口1,000円～の寄付をお願いしております。特定の企業や団体・特定の有力者からしるみを受けることなく、幅広い皆様からの浄財を頂くことで、自由な政治活動が出来ることを目指しております。申込用紙は大久保むが事務所からお届け致します。

※ご寄付を頂きました皆様には、年1回の使途のご報告をさせていただきます。

ご寄付・看板につきましては下記までお電話下さい。

事務所TEL
093-980-6806

看板設置ご協力をお願い

大久保むが事務所では、看板の設置にご協力いただける方を募集しております。よろしくお願致します。

ご連絡
お問合せは
コチラ

北九州市議会議員 無我夢中
大久保むが
後援会事務局